

## 第2回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会要旨

- 1 日 時 令和3年11月5日（金） 10時00分から11時00分
- 2 場 所 当別町役場 3階 中会議室
- 3 出席委員 別添名簿のとおり
- 4 町出席者 事務局：三上部長、石原課長、平田係長、田中主事
- 5 傍聴者 不可（新型コロナウイルス感染症対策のため）
- 6 審議会要旨

### 【委員長挨拶】

大変お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。本日は第1回の書面会議で皆様から頂きました貴重なご意見を取りまとめましたので、内容をご確認いただき、第2期総合戦略への当委員会からの意見書として提出することの決定をいただきたいと思います。また、第2期総合戦略の推進状況についてもまとめておりますので、その内容についても皆様へご説明させていただきたいと思っております。

### 【議題】

(1)当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）に対する意見書（案）について

**資料1**に基づき、事務局 石原課長より説明。

### ●意見・質疑等

（佐々木委員）

KPI 数値については、コロナ禍による影響やチャレンジをしている設定もあるので、バラツキがあると思いますが、外に訴求するときはこの数値がポイントになるので、しっかりと達成していないところは意識して進めていただければと思います。特に私は経産省なので、「プランⅠ（産業力の強化）」と「Ⅱ（人を呼び込むまちの再生）」のところをサポートできればなと思っております。また、「プランⅠ」の企業誘致のところ、「地域未来投資促進法」については私の部署で行っているもので、農地転用の事例については当別の事案が北海道唯一の事案であり、全国でも2、3件しかない事案でございます。

なかなか難しいエリアではありますが、上手く使っていただければと思います。税制優遇もかなりあり、企業へアピールする際も税制メリットをPR できるため、特に経済部の方々には意識して、ご相談いただければと思います。

(宮崎委員)

ご質問があります。「1 人口及び世帯数の推移について」の中で、「人口増加という視点だけではなく、過疎化を防ぐ上で」とありますが、この過疎化という表現の意味合いがわかりにくいので、もう少し適切な表現としたほうが良いと思います。

(事務局)

この「過疎化を防ぐ」については、「これ以上の人口流出を防ぐ」という意味合いになるかと思いますが、「過疎化」という言葉が適切かどうかということにつきましては、宮崎委員が仰るとおりでありますので、宜しければ、人口の増加に対比して「人口の減少」という表現とさせていただければと思います。

(宮崎委員)

お任せいたします。

(高橋委員)

商工業の立場といたしましては、昨年も高齢化で町の中心部の2店舗が閉店して寂しい限りでございます。今後は担い手がいないということが生じてきますので、その点を何とかしていきたいと考えております。商工会といたしましては、「創業塾」を十数年間開催してきているところで、毎年受講者の中から1、2店舗起業してきているところでありますが、創業にあたっての経費のところで助成金や補助金があれば、少しは先へ進めていきたいと思う人も増えるかと思えます。また、商店街が衰退してきている中で、駅周辺再開発プロジェクトの推進についても、ぜひ進めていただきたいと思えます。

(鴨崎委員)

企業誘致については、当別町には工業団地がない中で色々な優遇制度等の施策を行っているかと思いますが、立地に関して業種によっては国道沿いが良いという企業もあり、その際に上下水道の整備が進んでいないとなかなか来てくれるところがないため、浄化槽設置への大胆な補助や上下水道を引き込む際の補助など、優遇制度を細かいところまで拡充すれば企業の進出が進むかと思えます。

(小田島委員)

他の部署の委員会等にも参加していますが、文章の記載が高齢者にとってわかりにくい部分も多いため、内容についてわかりやすくなるよう配慮をしてもらえると良いかと思えます。

(事務局)

できる限り、言葉遣いや用語等も馴染みのあるよう配慮してきているところではございますが、どうしても時世的にその言葉を使わざる得ないというような用語もあることについて、申し訳ないと思っております。文字にしてお見せする際には、堅苦しくわかりにくい表現もあるかと思いますが、折々にご説明をさせていただく際には、十分に配慮させていただき皆様にご説明をさせていただきます。また、この点については、庁内各部局へもしっかりと伝え、配慮するよう努めていきたいと思っておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

(菅井委員)

当別町はこれから新駅の開業や札幌に近い地の利もありますので、今後交流人口や定住人口が拡大するチャンスになるかと思えます。また、内閣府より発表されたコロナ禍における生活意識の調査において、首都圏に住む若年層の方が地方へ移住したいという関心が増えている結果が出ていますので、振興局といたしましても若者が管内に定着する事業を進めていることから、一緒に取り組んでまいりたいと思えます。

(宮崎委員)

人口の増加についてだけではなく、今いる人たちが幸せに暮らせるという質の面の取り組みが結果として人口の増加にも繋がるのではないのでしょうか。

(佐々木委員)

今のご意見は、人口が減ることはやむ負えないが、付加価値が増加しているというような記載についても、何かあった方が良いという趣旨かと思えます。

(事務局)

今いただきました意見も含めて、意見書を修正したのちに、再度メールにてご確認させていただきたいと思えます。総合計画及び第2期総合戦略作成の際にも、外部向けの発信が多いという点についての意見もいただいた経緯があります。これは、人口増加策として、上目の目標にしなければ、拍車をかけて人口が減少してしまうという考えの旨のご説明をさせていただき、決定させていただいたものとなっております。ただ、人口増加を目指すための移住者を獲得していくことはもちろんですけれども、今いる町民の方々の幸福度や住みやすさが高くなかったら町としての魅力を発信できない、当別町の魅力を高めることが波及して人口増加にも繋がるといったご意見をいただいたこともございます。各部署も含めて、どうしても外に目が行きがちといったこともございますので、その点について意見書に記載をさせていただき、この意見書を各部署へ通知したいと考えております。

【その他】

(1)当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）の推進状況（R3見込み）について

資料2に基づき、事務局 石原課長より説明。

●意見・質疑等

（佐々木委員）

数値も理由の付く範囲で修正するのは良いと思うが、上手くいってないのであれば分析した上で、各部署と連携しながらやり方を変えて進めていくべきだと思います。

(4) 閉会

（事務局）

先ほども申し上げましたが、意見書を修正した上で再度メールにて確認をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（黒澤委員長）

それでは、第2回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を閉会いたします。  
ありがとうございました。